

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【公表番号】特表 2018-519026 (P2018-519026A)

【公表日】平成 30 年 7 月 19 日 (2018.7.19)

【年通号数】公開・登録公報 2018-027

【出願番号】特願 2017-560926 (P2017-560926)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 0 0 D

A 6 1 B 6/00 3 0 0 X

A 6 1 B 6/00 3 1 0

A 6 1 B 6/10 3 5 1

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 25 日 (2019.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの接近センサから該少なくとも 1 つの接近センサの第 1 基準値に対して測定される応答信号を受信するための入力インターフェースと、

フィルタ済応答信号を生成するために、前記少なくとも 1 つの接近センサ及び物体が互いに相対運動で通過することによる前記応答信号において、1 以上の周波数を低減するように前記応答信号をフィルタ処理するフィルタモジュールと、

前記フィルタ済応答信号が第 1 閾値を横切る場合に、接近イベントが発生したと宣言する接近イベント宣言部と、

前記接近イベントが発生したとの宣言にตอบสนองして、新たな基準値を選択する基準値適応部と、

を有する、物体接近検出装置。

【請求項 2】

前記応答信号又は前記フィルタ済応答信号が前記新たな基準値に対して測定された第 2 閾値を横切る場合に、物体接近アクションが取られるための出力信号を送出するアクションモジュールを有する、請求項 1 に記載の物体接近検出装置。

【請求項 3】

前記応答信号は、前記少なくとも 1 つの接近センサと少なくとも 1 つの物体との間に相対運動が存在する間に受信される、請求項 1 に記載の物体接近検出装置。

【請求項 4】

前記新たな基準値は、前記接近イベントの発生の場合にキャプチャされるフィルタ処理されていない応答信号に対応する、請求項 1 に記載の物体接近検出装置。

【請求項 5】

前記フィルタモジュールがハイパス又は帯域通過フィルタである、請求項 1 に記載の物体接近検出装置。

【請求項 6】

前記接近イベント宣言部は前記応答信号又は前記フィルタ済応答信号を監視すると共に、前記フィルタ済応答信号が前記第 1 閾値を再び横切った場合に前記接近イベントを非接近イベントに宣言し直す、請求項 1 に記載の物体接近検出装置。

【請求項 7】

前記アクションモジュールは前記接近イベントが宣言された場合にのみ前記出力信号を送出する、請求項 2 に記載の物体接近検出装置。

【請求項 8】

前記少なくとも 1 つの接近センサが、医療撮像装置の可動部分に取り付けられる、請求項 6 に記載の物体接近検出装置。

【請求項 9】

撮像装置と、
請求項 1 に記載の物体接近検出装置と、
前記応答信号が受信される前記接近センサの 1 以上と、
を有する、撮像システム。

【請求項 10】

前記接近センサの 1 以上が前記撮像装置の可動部分に配置される、請求項 9 に記載の撮像システム。

【請求項 11】

少なくとも 1 つの接近センサから該少なくとも 1 つの接近センサの第 1 基準値に対して測定される応答信号を受信するステップと、

フィルタ済応答信号を生成するために、前記少なくとも 1 つの接近センサ及び物体が互いに相対運動で通過することによる前記応答信号において、1 以上の周波数を低減することによって、前記応答信号をフィルタ処理するステップと、

前記フィルタ済応答信号が第 1 閾値を横切る場合に、接近イベントが発生したと宣言するステップと、

前記接近イベントが発生したとの宣言にตอบสนองして、新たな基準値を選択するステップと、
を有する、物体接近検出のための方法。

【請求項 12】

前記応答信号又は前記フィルタ済応答信号が前記新たな基準値に対して測定された第 2 閾値を横切る場合に、物体接近アクションが取られるための出力信号を送出するステップを有する、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

処理ユニット上で請求項 12 に記載の方法を実行する、コンピュータプログラム。

【請求項 14】

請求項 12 に記載の方法を実行するコンピュータプロセッサを制御するソフトウェアを記憶した、コンピュータ読取可能な媒体。

【請求項 15】

請求項 12 に記載の方法を実行する、コンピュータプロセッサ。